

茂木町立 茂木中学校

所在地：栃木県芳賀郡茂木町大字茂木72番地
建築面積：2,217.85m²
延床面積：4,668.63m²
構造・規模：RC造（1階）、木造（2階）、地上2階建
設計：（株）楠山設計
施工：建築／東洋建設（株）
電気／宇賀神設備（株）
竣工：平成20年12月



主要構造部及び内装仕上材や造作家具に地元町有林の木材を活用した新校舎。照明は教室専用器具を採用し、明るくかつグレアのない快適な学習環境を確保しています。

地元杉材を使用した木造校舎。片側廊下方式で自然採光・自然換気を確保

茂木中学校は、町の歴史と町民の心に残る「森の国の学び舎」を設計コンセプトとし、ふんだんに地元木材を使用した大断面軸組工法の2階建て校舎です。南側採光を基本としたシンプルで明快な外観、内部空間は学習と交流の核となる中庭を中心に、回廊方式による単純で分かりやすい動線としています。グループ学習や少人数学習などの学習形態の多様化への対応、図書室・コンピュータ教室が連携したメディアセンターの設置のほか、オープンな多目的室の設置など、魅力的な施設となっています。

教室専用器具を採用し、視野内に不快なグレアのない学習環境を確保

1階の普通教室や特別教室の照明は、Hf32W2灯用教室専用直付器具（スクールソフト）を3列の整列配置とし、黒板灯は1灯用直付形を2台設置（平均照度600lx）。窓際を単独の点滅とし、昼光で十分な照度を得られる場合は消灯して省エネを図っています。2階の普通教室や特別教室は、V型立体トラスとなっており、トラスから床上約3m高さにHf32W2灯用スクールソフトパイプ吊りを設置。適正照度を確保した快適な学習環境を創出しながら開放的な空間を演出しています。

丸太、製材を最大限に生かした大空間のふれ合いホールは、Hf32W2灯用スクールソフトワイヤ吊りを床上3m高さにして長手方向に3列配置。ホール内の適切な照度を確保しながらスリット付反射板から上方向にも光が回り、木造の構造体を明るく表現しています。

ふれ合いホールに沿って設けられている図書室は、ふれ合いホールと同様の照明を採用し連続性をもたせて大空間の視環境を形成しています。コンピュータ教室では、遮光角24°以上の適正グレア制御の教室専用器具を採用し、パソコン画面への映り込み防止を図って目の負担を軽減しています。

各トイレの照明はHf32W1灯用直付器具を採用し、洗面場には電球形蛍光灯ブラケットを設置。人感センサとの連動で人を感知してON・OFF制御による省エネを図っています。



1階普通教室の照明 Hf32W2灯用教室専用直付器具（スクールソフト）を整列配置、視野内にグレアの少ない光環境を確保



1階技術教室の照明 スクールソフト直付器具を採用



2階調理教室の照明 グレアカットのスクールソフトパイプ吊器具を採用



2階普通教室の照明 上方向にも光が回るスクールソフトパイプ吊りを設置



2階廊下・ワークルーム Hf32W1灯用トラフを横付設置し、空間を明るくしながら天井構造体を明るく照射



木材による大断面軸組工法の大空間が形成されているふれ合いホールの照明 Hf32W2灯用ワイヤ吊りのスクールソフトを採用。空間全体を明るくし対比を柔らげて快適な視環境を確保



図書室の照明 ふれ合いホールと同様の照明で一体感を創出



コンピュータ教室の照明 ワイヤ吊スクールソフトバツフル付を採用しPCモニタ映り込みを防止



渡り廊下の照明 Hf32W1灯用防湿防雨形トラフによる建築化照明



間接照明とダウンライトによるエントランスホールの照明



人感センサによりON・OFF制御したトイレの照明

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	教室専用器具	FHF-42404-PA9	129	Hf32W蛍光ランプ×2
	教室専用器具 (バツフル付)	FHT-42764-PA9	209	
	黒板灯	FHT-42765NK-PH9	20	Hf32W蛍光ランプ
	埋込器具	FHT-41093-PA9	32	Hf32W蛍光ランプ×2
	逆富士形器具	FHR-42848-PA9	26	Hf32W蛍光ランプ
	ミラー灯	FHT-41307N-PA9	120	20W蛍光ランプ
		FB+2400A	20	